

福島県PTA連合会会報
第64号_H16.07.30

PTAふくしま

第64号

福島県PTA連合会
編集/調査広報委員会
印刷/泉印刷所

親子で学ぶ（手話教室）

手話とは？耳が聞こえないという状態は？などについて講師の先生から話を伺い、手話の体験をしている4年生の親子



【提供 郡山市立開成小学校】

《主な記事》

- 会長挨拶・新役員紹介 P2
- 15年度広報紙・学校新聞コンクール受賞校紹介 P3
- 前会長挨拶・小中学校別懇談会概要 P4
- 県P研究大会須賀川大会案内 P5
- 特別事業紹介 P6

県P連活動スローガン 子と親とが 共に育つ PTA活動を

●会長就任にあたり

「心の通う教育」の実践を



福島県PTA連合会

会長 小松 良行

会員の皆様には、日頃からPTA活動並びに子どもたちの健全育成諸事業に多大なるご支援とご協力を頂いておりますことに、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

客観的に「ごく普通の子ども」「普通の家庭」と表していますが、皆が思う「普通」とは、どのようなものなのでしょうか？

さて、六月一日に長崎県佐世保市で発生した小六同級生殺害事件は、教育界のみならず社会全体を震撼させる事件として論議を呼んでいるところです。学習指導要領の改訂に伴い「生きる力の育成」や「心の教育」をスローガンに掲げて取り組んできたにもかかわらず、また昨年七月に起きた中学生幼児誘拐殺人事件の記憶も新しいこの時期でありますから、事態を重く受け止めなければなりません。

私がイメージする家には、年寄りが出て、小さな住まいには「プライバシー」など存在せず、嫁V S 姑の世代間の確執や夫婦げんか等、家族同士ちよくちよく衝突を起こしていました。子どもといえは言いつけを守らず、勉強もしないで遊びほうけては、これを叱る親の怒鳴り声が毎日聞こえてきました。

今年度、県PTAでは、家庭教育力向上を目指す上で重要な鍵となる父親に向けて「(仮称)家庭教育参加を考える集い」を郡市P単位で取り組むこととし、また、子どもたちに対しても、正義と友情をテーマにした映画「ハードル」の上映会を通じ、健全育成を喚起して参りたいと思います。

平成16年度 福島県PTA連合会役員一覧

Table listing the members of the Fukushima Prefecture PTA Union for the 16th year of Heisei. It includes roles like President, Vice President, Secretary, Treasurer, and various regional representatives.

第39回県PTA広報紙・
学校新聞コンクール
晴れの受賞校

「まつかわ」(福島・松川小P)
「久 遠」(福島・西信中P)

◇入 選

「おとり」(福島・大島中P)
「あげつち」(いわき・平一小P)
「かわたに」(西白河・川谷小P)
「しきみ時報」(耶麻・喜多方一小P)
「あゆみ」(伊達・上保原小P)
「たて山」(石川・川辺小P)
「四季だより」(安達・上太田小P)
「たけのこ」(双葉・浪江小P)
「大 成」(会津若松・若松三中P)
「こだま」(東白川・棚倉小P)
「あおい」(郡山・守山小P)
「むすび愛」(岩瀬・須賀川養護小P)

第三十九回県PTA広報紙・
小中学校新聞コンクール(福島
県PTA連合会、福島民友新聞
社主催)は、平成十六年四月十
三日福島民友新聞社で審査が行
われた。
応募作品は、PTA広報紙に
百十六点、学校新聞に十八点の
応募があり、審査の結果、以下
の二十四点が入選した。

【PTA広報紙の部】

◇最優秀賞

「カリヨン」

(会津若松市・小金井小P)

「SAZANKA」

(福島・平野中P)

◇優秀賞

「絆」

(郡山・郡山ザベリオ学園P)

「みどり松」(いわき・草野小P)

「早 柳」(福島・清水小P)

「栃の実」(郡山・栃山神小P)

【学校新聞の部】

◇最優秀賞

「かがやき」

福島市立金谷川小学校

◇優秀賞

「かしわ」

相馬市立玉野中学校

◇入 選

「POWER」

郡山市立郡山第四中学校

「ひやま通信」

岩代町立田沢小学校

小金井小「カリヨン」

会津若松市立小金井小学校

小金井小学校は、昨年開校したばかりで、私も広報委員長を任せられた時は本当にパニック状態でした。題名・印刷所・形式、すべてからの出発です。とにかく近くの小・中学校の広報紙を集め、以前広報委員をやっていた方からお話を聞くなどして進めていきました。編集作業も、昼の班と夜の班に分け、役割分担して進めました。小さいお子さんを持つ委員の方も昼の班なら出席しやすかったそうです。夜の班の方は勤めておられ

平野中「SAZANKA」

福島市立平野中学校

広報紙「SAZANKA」は、十八名の広報委員が担当しており、年二回発行しております。初めにどの面をどの学年が担当するかを決め、その学年が担当面を作るとい形をとっております。

平野中「SAZANKA」の一面はどの号も生徒の生き生きとした表情の写真が大きく載っているのが特徴です。その表紙を見て中学校の行事・中学校そのものに関心を持って頂けたらと思います。どの写真を使うかいつも苦勞す

る委員さんで、遅くまで頑張って頂きました。

デジカメを使用するにあたってパソコン設備が充実しているわが校は大変助かりました。学校で、プリント・アウトができ費用が削減できました。一学年から六学年まで均等に楽しめる内容、学校行事がわかりやすいこと、各委員会の活動など、沢山の記事を載せてくれている話し合いました。

また、校正の時委員の方を召集しても、印刷所さんが原稿を持ってくることが間に合わなかったり、F・Dがどこにいったかわからなくなったり、ずいぶん気を揉みました。予算的に少し余裕があったため、一面と六面をカラー印刷にし、中の面

るところです。

六十六号は、梨秋祭における自由で伸び伸びとした生徒達の様子、そして自主性を大切にしてくださる先生方のことを保護者に知らせたいという願いからあえて掲載した写真を使いました。おもて面を担当した学年は編集会議の殆どをこの表紙にのびやしました。

特集「地域に感謝」は、子供たちの健全育成のため活動を行って

も「金赤」の二色にし子供達の見えいきとした表情をカラーで見せて頂けたらいいなと思いました。出来上がった一番初めの一号を見るといろいろ不満な部分もありました。もっと改善できればと、二号、三号で工夫していきました。

そんなわけで、何も粋がなく、伸び伸びと好きにやらせて頂いたおかげでもっと楽しく誌面作りができました。何らかの賞に入ればいいなと軽い気持ちでコンクールに出品したのですが、最優秀賞を頂き、大変光栄です。協力して下さいました先生方、委員の方々のおかげです。本当にありがとうございます。

(広報委員長 田口さおり)

また、レイアウトも楽しく読んで頂けるよう考えました。この特集により、平野中にしかない体育後援会・環境緑化後援会のことを知らせることができ大変好評でした。

白い一枚の紙が編集会議の度にいろいろと変身し、最後には立派な広報紙になる。この充実感を担当した者でないとはじわえないものです。

今回ご褒美として栄えある受賞をいただきましたことを心より感謝申し上げます。ご協力いただきました地域の皆様、山川印刷所様、先生方、本当にありがとうございます。

(広報委員長 篠木 恵子)



退任にあたって

前会長 林 憲 一

平成九年、会津若松市立鶴城小学校父母と教師の会の会計監査に就任してから七年間、PTA活動に関わらせていただき、福島県PTA連合会の会長という大役をもって終わりを迎えることになりました。この七年の間、諸先生方や多くのPTA会員の方々の御協力のおかげで無事終わることが出来ますことに心より感謝を申し上げます。

さて、会長を務めさせていただいた平成十五年度を振り返ってみますと、七月には沖縄、長崎で中学生による凶悪な犯罪が発生し、その後も東京や各地で子どもたちを巻き込んだ事件が数多く発生いたしました。福島県においても、九月に須賀川で小学生が連れ去られ、後日無事に発見されましたが、全国的に子どもたちに関わる犯罪の発生が後を断ちませんでした。(社)日本PTA全国協議会としてもこうした事態に対して緊急アピールを発表し、全家庭に配布いたしました。日本PTAの赤田会長は、危機感を持ち、今こそPT

Aの存在を再認識する時であり、見直す時期であると考えております。県PTA連合会としまして、各郡市連Pや単位PTAとの連携をとり、この様なことが起こらないよう活動をしてまいりましたが、今後も続けていきたいと思っておりますので、会員皆様の御協力を御願ひ致します。

県PTA連合会の最大の事業である研究大会も五十三回を迎え、原町市において多くの参加者により盛大にかつ成功裏に開催することが出来ました。各分科会においても熱い討議がなされ、また、梅原司平氏による記念講演も今だに記憶に鮮明に残っております。実行委員長をはじめ実行委員会の皆様にあらためて感謝を申し上げます。これからの研究大会が更に盛大にそして実り多き大会となりますよう御祈念申し上げます。一年間という短い間の会長でありましたが、日本PTAをはじめ東北PTA、文科科学省、県教育委員会において意見を述べる機会を得られ、数多くの経験と勉強を

させていただきました。その中で一番感じたことは、やはり人間教育で重要なのは「家庭教育」であるということでした。私も様々な場所で話をさせていただきましたが、家庭での教育が大切であるということも言ひ続けてきました。

子どもたちがこの世に生まれ一人の人間に成長する過程で家庭の持つ意義は大きいものであると思います。社会環境が様々に変化していき、家庭というものはいつもしつかりしていなければならないものであると思います。しっかりと家庭が集まり、すばらしい地域社会が形成されていくのではないかと思います。これからの私の役割は一人の地域の人間として子どもたちを見守っていくことではないかと思っております。子どもたちが、安心して、安全で、そして元気に生活していける社会の早期実現を期待いたしております。

終わりに、福島県PTA連合会が小松新会長のもと、「子と親とが共に育つ PTA活動を」のスローガンに向けて、県内全会員の皆様の御協力により、素晴らしいPTA活動が展開され、子どもたちの健全な育成がなされますように御期待申し上げますと共に、福島県PTA連合会の益々の御発展を御祈念申し上げます。

第十二回県PTA連合会

小・中学校別懇談会

さる六月二十三日(水)に県青少年会館で小・中学校別懇談会が開催された。

今年度は「PTAと学校が、より一層連携を図る必要がある事項や新たに連携すべき事項などについて話し合い、その在り方について考える」という懇談会のテーマのもと、小学校部会は、①変質者等から子どもの安全を守るために、学校・諸機関との連携をどう進めるか②安全面以外のことについて、学校・諸機関との連携(事例)交換をする③その他の三点から話し合いがなされた。中学校部



中学校部会の風景

会は、①変質者やメディア等から身を守る能力を子どもに育成するために、保護者としてどう関わればよいか②また、学校・諸機関との連携をどう進めるか(現状と課題)③その他について話し合いが行われた。

今年度に入ってから変質者等による声掛け事案・子どもによる特異な事件の発生がみられ、関係諸機関と連携を図りながら子ども達の環境を整えていくことが問われている。

◆小学校部会では「変質者等からの安全確保」についてPTAをはじめ地域の方と連携し情報を共有化していく体制作りの重要性が話し合われた。特に地域の方に登下校時見守っていたかと共にあいさつなどの「声かけ」をしていたら、地域全体で取り組んでいることを示すことが大事でないかという意見が出された。

安全確保以外では、子どもに豊かな人間性・社会性を身につけさせるため図的に体験的活動を連携して設定している例として、公民館等で宿泊しながら通学する例や、同じ中学校に進学する数校の六年生が合同宿泊を実施し事前の

家族っていいな

日本 P T A 全国協議会では、「たのしい子育て全国キャンペーン」や「やっぱり家族っていいな」のテーマで、家庭の風景／三行時と写真を募集しています。昨年度の三行誌優秀作品をご紹介します。

●ママの手まくら ふうわふわ
 パパのひざまくら ふつかふか
 ぼくの心は ぼつかぼか

●お母さん
 家族みんなの
 相談室
 (中学生)

●母のハートは
 花畑
 やさしさ きびしさ
 咲いている (一般)

多くの作品の中から、各部門一点ずつ載せました。どの作品からもその家庭のぬくもりや家族関係が伝わってきます。

今年度の応募要項は届いていませんが、わかりやすいホームページでお知らせしますので、皆様のご応募をお願いいたします。

なお、写真も募集しておりますので、楽しい家族の写真をお待ちしています。

第53回 P T A 研究大会須賀川大会のお知らせ

人と自然が共生する岩瀬の地で、今年度の「第五十三回福島県 P T A 研究大会須賀川大会」が開催されます。

須賀川大会では、昨年度の原町大会で取り入れられました「グループトリーキング」に加え、新たな試みとして、「パネルディスカッション」を三つの分科会に取り入れられました。これにより、参加される皆様が、お気楽にご意見を出し合い、活発な情報交換の機会になればと考えております。参加者の心に残る有意義な大会にしていきたいと、諸準備に取り組んでいます。

駐車場等、何かとご不便をおかけするものと思いますが、会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

◆大会主題
 新しい時代を担う子ども自立と共生を育む P T A 活動

◆期 日
 平成十六年九月二十五日(土) 二十六日(日)

◆会 場
 二十五日：須賀川アリーナ
 二十六日：須賀川アリーナ
 その他

◆分科会(会場)・テーマ
 1 組織運営 (須賀川アリーナ)
 諸機関や団体と積極的に連携し

た活動を推進しよう。
 ☆パネルディスカッション
 2 研修活動 (須賀川アリーナ)
 求められている研修内容を共有して活動を推進しよう。
 ☆提言十グループトリーキング
 3 家庭教育・小学校 (須賀川文化センター)
 子どもたちの「生きる力」を育む活動を推進しよう。
 ☆パネルディスカッション
 4 家庭教育・中学校 (須賀川第三小学校)
 子どもたちの「生きる力」を育む活動を推進しよう。
 ☆パネルディスカッション
 5 健全育成 (須賀川文化センター)
 心身ともに健全な子どもを育てる活動を推進しよう。
 ☆提言十グループトリーキング
 6 養護教育 (須賀川市産業会館)
 特別な支援を必要とする人々との交流を通し豊かな心を育成しよう。
 ☆提言十グループトリーキング
 以上、通常の六分科会で行います。
 ◆記念講演
 演題：「信じる力」
 講師：芥川賞作家
 玄侑 宗久氏

三春町の「福聚寺副住職」の傍ら、各種執筆活動や講演会等で活躍中です。

◆アトラクション
 「奥州須賀川松明太鼓&小若組」須賀川市を中心に活動している奥州須賀川松明太鼓保存会と小中学生で組織している小若組とのジョイントコンサートです。子どもたちの迫力ある演奏を是非お聞きください。

◆宿泊について
 「第二次案内」でもお知らせいたしましたとおり、宿泊施設の関係で、申込みをいただいているから大会事務局で割り振りさせていただきます。ご希望に添えない場合があるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆大会事務局
 「須賀川市立第一中学校」
 〒九六二-〇〇二四
 須賀川市稲荷町一三〇
 (TEL・FAX)
 〇二四八-七六一四四五



▶松明あかし

交流を深める例が出された。その他 P T A 行事への父親の参加を促す行事の工夫や学校週五日制の実施により休日を無目的に過ごす子どもへの援助などが課題として出された。

◆中学校部会では「保護者とのかわり」について、地域環境の浄化と整備が必要であること、身の周りの自由と規制の考え方やメディアの持つ便利さと落とし穴などについて新しい情報による保護者の啓発が必要であること、また、生徒を地域全体で見えていくには地域との密着した関係が不可欠であることが話し合われた。「連携の進め方」については、保護者・学校・地域の情報が互いにフィードバックされる関係作りをすること、関係組織を活性化させるための改善点と積極的な働きかけを進めるための方策を実態に合わせて検討することが話し合われた。

さらに「小学校とどのような連携ができるか」について、小中の交流の実態や違いに基づく相互理解や小中の接続のための活動内容などの課題が出された。

本日、話し合われたことをもとに各単 P や各郡市連 P 研究大会でさらに実践や研究協議を深め、須賀川大会につなげて欲しいということでもまとめがなされた。

16年度県P連主要行事予定

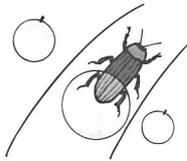
8月以降	
H16. 8月18日(木)	・郡市P母親代表者懇談会(参加者各郡市P2名)
9月24日(金)	・理事会、常置委員会②
25日(土)	・県P研究大会須賀川大会(全体会)
26日(日)	〃(分科会)
12月~1月	・災害事故防止習字・ポスター募集
H17. 1月26日(木)	・理事会、常置委員会③
2月19日(土)~3月6日(日)	・災害事故防止習字・ポスター展優秀作品展示、表彰
2月24日(木)	・評議員会②

【特別事業】

- 1 「父親の家庭教育への参加を考える集い」(文部省・県教委委託事業一各郡市P連ごと実施)
- 2 アニメ映画「ハードル」上映会(各市町村単位で希望により開催-10月から3月まで-ご協力ください。)

【参 考】

- ・日P研究大会大雪圏大会(旭川市他) 8/27~28
- ・東北P研究大会むつ大会 9/11~12



編集後記

昨年に続いて全会員の皆様に会報をお届けすることができました。少しでも県P連の活動をご理解いただければありがたいです。

今年度の“特別事業”2つをご紹介しましたのでご理解を頂き、ご支援とご協力をお願い致します。

今年度は年度始めからショッキングな事件が続発しています。中でも、佐世保、新潟での小学生の同級生に対する殺傷事件には、驚きと悲しさで、なぜ?どうして?と唖然としました。

これらの対策のひとつとして、家庭・学校・地域で、子育ての原点(心と環境)からの話し合いと実践が、今、最も必要なのではないのでしょうか。(s k)

国や県では、家庭教育支援総合推進事業として、子育て学習講座、妊娠期子育て講座、思春期子育て講座、就学時健診等を活用した子育て講座、明日の親となる子育て理解講座等々、中学生から祖父母までを対象とした講座を開設し、学習の機会を提供しています。

今年度はさらに「父親の家庭教育への参加を考える集い」の実施という事で、県P連と県高等学校P連も委託を受け事業を推進します。

本会では、各郡市P連毎に実施しますが、五月の相馬地方P連をスタートに、岩瀬、安達、郡山、耶麻、大沼、北会津P連と終了しております。

家庭教育に父親不在と言われて久しい今日、「父親よ、子育てに

積極的にかわろう」というテーマのもと、講話を聴きその後グループトークキングをする等の形態で実施をお願いしています。

家庭や地域の教育力の活性化をどう図っていくか、今こそ父親の出番が待たれていることを認識し、実践の輪を広げる契機としたい。

今年十月から来年二月までの間、県内市町村単位で上映会を開催します。

上映会決定までの経過は、パンフレットによる理解、試写会の実施(三月福島テルサにて、県内各郡市P連役員視聴)その後理事会・評議員会で決定しました。

映画のあらすじは、横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、バスケット部のエースでクラスの人気者。しかし、母は受験のことばかり

特別事業2

アニメ映画「ハードル」上映会

大切に考えて、レオンの心の声を聞いてくれない。そんな時、父の会社が倒産し、レオンたちは母親の実家の古川市に引越す。

レオンは、転校先の学校でバスケット部への入部を断ったことがきっかけで、いじめの標的にされてしまう。そして、ある雪の朝事件は起こりました。波風が立つのをおそれて真実を隠そうとする大人たちに対し、子どもたちは立ち上がります。自分たちの「正義」を守るため、勇気をふるいおこして。

子どもと一緒に観て、人間の生き方を話し合いたいものです。

◆上映の決定 市町村P連ごと日時、場所を決定し、県P連事務局に申し出る。

◇チケット
・(前売券)大人 一、二〇〇円・子ども 七〇〇円です。当日券は各二〇〇円増。なお、小・中・高校生は子ども料金となります。

安全互助会だより

◆お願い

事故(傷害・賠償)が発生したら、先ず事故報告書をFAX(送り状不要)で県P連事務局に送付ください。事務局では報告書に基づいて判断し、必要な場合には連絡をいたします。

◆15年度の発生件数

- ・傷害事故 学童 3,142件 PTA 236件
- ・学童死亡事故 9件
- ・賠償事故 学童 260件 PTA 13件
- ・活動支援補償 1件

14年度と比較して、学童の傷害・賠償は共に増(137件)、学童死亡は1件減、PTAの傷害・賠償は併せて19件の減でした。なお、学校・PTA活動支援補償制度への加入をご検討ください。

◆問い合わせは、下記に電話にてお願いします。(県P連優先)

福島県PTA連合会 安全互助会
(TEL 024-545-5982 FAX 024-545-5990)

《提携損保》 **共栄火災海上保険株式会社**

〒960-8035 福島市本町5-5 殖銀フコク生命ビル7階
TEL 024-523-3507 FAX 024-523-3509